

第七十回帝國議會
衆議院

絲價安定施設法案外一件委員會會議錄(速)第十四回

會 議

昭和十二年三月十九日(金曜日)午後二時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事小山邦太郎君 理事横川 重次君

野田文一郎君 日比野民平君

多田 滿長君 高木条太郎君

松尾 四郎君 登坂 良作君

小林 鑄君 東條 貞君

益谷 秀次君 田中 彌助君

今給黎誠吾君 平野 力三君

山崎 鉦二君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

農林省山林局長 村上龍太郎君

農林省水産局長 原 辰二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

漁船保險法案(政府提出)

漁船再保險特別會計法案(政府提出)

森林火災國營保險法案(政府提出)

森林火災保險特別會計法案(政府提出)

○紫安委員長 是ヨリ開會致シマス、漁船保險法案、漁船再保險特別會計法案、之ヲ一括致シマシテ直ニ討論ニ入りマス——多田君

○多田委員 漁船保險ハ漁業者及ビ吾々多年ノ要望デアリマシテ、漁業經營ノ安全ヲ

圖リ、延イテ漁業ノ改良發達ヲ促進スル意味ニ於キマシテ、本法ノ提案ヲ見タト云フ

コトハ、今疲弊ニ陥ッテ居ル漁村、而モ何等顧ミラレナイ、又救ハレザル漁業者ニ對シテ、一道ノ光明ヲ與ヘタモノトシテ、私共

ハ之ヲ歡迎スル者デアリマス、漁船保險ト同時ニ考慮シナケレバナラヌコトハ、水産

資源開發ノ問題デアリマス、此資源ニシテ涸渴シマスルナラバ、如何ニ多クノ漁船ヲ

作ッテ見タ所デ、殆下用ヲ爲シマセヌ、隨テ保險法モ又存在ノ意義ヲ失フコトニナルノ

デアリマスカラ、此點ニ付テ大イニ留意スル必要ガアルト存ジマス、然ルニ遺憾ナガラ、我國ノ水産資源ハ、漸次減退ノ狀況ニ

アルノデアリマス、故ニ今後はガ開發ニ全

力ヲ盡ス必要ガアルト思ヒマスガ、其手段トシテハ、先ヅ水産國策ノ樹立ガ必要デア

ルト存ジマス

即チ先ヅ第一ニ漁村ノ更生振興ヲ圖ルコト、是ガ爲ニハ我國漁業ノ中樞トモ見ルベ

キ沿岸漁業ノ振興ヲ圖ル必要ガアリマス、

輾近沿岸漁業ハ、多年ノ濫獲ニ依リマシテ、資源ガ日ニノ涸渴致シマシテ、爲ニ漁村

ノ窮乏ハ年ト共ニ甚ダシクナッテ居リマス、デアリマスカラ速ニ改正法ニ依ル漁業組合

ノ機能ヲ發揮セシムルト共ニ、一方ニ於キマシテハ、漁業組合中央金庫ヲ創設シマシ

テ、之ヲ中心トシテ漁村金融ノ改善ヲ圖ッテ行ク、又一方ニ於テハ沿岸漁場復興計畫

ヲ樹立シマシテ、沿岸魚介類ノ繁殖保護ニ付テ、徹底的ニ調査研究シテ、是ガ計畫ヲ

樹立シ、實行ヲ圖ル必要ガアルノデアリマス、即チ一例ヲ擧ゲテ申シマスナラバ、水

質汚毒防止ニ關スル施設ヲスルトカ、或ハ又機船底曳網ニ付テ、十分ナル考慮ヲ廻ラ

スト云フガ如キコトガ、必要デアラウト思ヒマス

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

漁船保險法案(政府提出)

漁船再保險特別會計法案(政府提出)

森林火災國營保險法案(政府提出)

森林火災保險特別會計法案(政府提出)

第二ニ遠洋漁業ノ振興ヲ圖ル必要ガアリマス、我國ノ遠洋漁業ハ、近來長足ノ進歩ヲ遂ゲテ居リマスケレドモ、更ニ南北兩洋ノ資源ヲ開發致シマシテ、國富ノ増進ヲ圖ルコトガ肝要デアリマス

第三ニハ又水産物ノ輸出増進ヲ圖ル必要ガアリマス、現下通商上ニ色々ナル障礙ガアルニ拘リマセズ、我ガ水産物ノ輸出額

ガ、累年遞増ノ步調ヲ取リツ、アルト云フコトハ、水産方極テ彈力性ノアル貿易品デア

ルト云フコトヲ證明スルモノデアリマスカラ、今後此點ニ付テ官民ノ施設經營宜シ

キヲ得マシタナラバ、輸出額ヲ倍加シ國際貸借ノ改善ニ、多大ノ貢獻ヲ現スコトハ明

瞭デアルト存ジマス、更ニ又是ト相俟ッテ水産研究機關ヲ改革強化シ、又水産教育施

設ニ對シテ革新ヲシテ行ク、或ハ又漁村中堅人物ヲ養成シテ、漁村ヲ指導改善スルト

カ、或ハ又漁村負擔ノ公正ヲ圖ッテ、漁村ノ經濟更生施設ヲ擴充スルトカ、或ハ又漁業

組合ヲ更ニ一段ト活動セシムル爲ニ、助成方法ヲ講ズルトカ、又ハ漁港網ノ完成ヲ期

スルトカ、或ハ又水産物ノ利用振興ヲ圖テ行クトカ、色々ノ方法ヲ講ズル必要ガアルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ、幾分政府ニ於テモ手ヲ著ケタモノモアリマセウガ、更ニ又徹底的ニ施設計畫ヲシテ、是ガ實現ニ努メマシテ、疲弊ニ陥ッテ居ル漁村ヲ救済スル必要ガアルト思ヒマス、斯様ニシテ初メテ漁船保險モ亦極テ意義ノアルモノトナッテ來ルノデアリマス、所デ本法施行ニ當リマシテハ、漁村ノ現狀ニ鑑ミテ、此法律ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲ニ、保險料金ヲ出來ルダケ安クシテ、同時ニ又資金化融通ノ道ヲ全ウセシムル爲ニ、保險金額ヲ出來ルダケ引上ゲテ行クト云フコトノ必要ガアラウト思ヒマス、即チ今日デハ新造費ノ七掛ヲ時價ト致シテ居リマスシ、更ニ又七掛ヲ以テ保險金額ト認メテ居ルノデアリマスガ、之ヲ各八掛ニ引上ゲテ行クト云フヤウナコトガ必要デアラウト思ヒマス、更ニ又將來漁船再保險ノ特別會計ノ剩餘金ニ付テモ十分考慮ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、御承知ノ如ク特別會計ニ對シテハ動モスレバ一般會計カラ搾取ラレルダケ搾リ取ルト云フ有様デアリマシテ、特別會計設定ノ趣旨ニ反スルヤウナコトガ屢々アルノデアリマス、デアリマスカラ此特別會

計法ニ於キマシテモ、此點ニ留意致サレマシテ、漁村振興ノ爲ニ、即チ其剩餘金ノ出來ク時ハ保險料金ノ引下ノ爲ニ、出來ルダケ充當シテ行クト云フヤウナ方法ヲ講ジテ行ク必要ガアラウト存ジマス、更ニ又中小漁船ニ力ヲ盡シテ戴キタイト思フノデアリマス、此漁船保險實施計畫表ヲ見マスト、全國漁船數及ビ加入豫定數ノ中デ、第一年度ニ動力附漁船ガ六萬六千隻、總噸數四十六萬八千噸ノ中デ、加入豫定隻數ハ四千六百六十隻、加入豫定噸數ハ三萬噸、其加入隻數ノ割合ヲ見マスト、七%三五二、加入噸數ノ割合ハ七%三五三ニナッテ居ルノデアリマス、段々遞増サレテハ居ッテ、第九年度ニナリマスト、加入隻數ノ割合ハ五二%三〇五、加入噸數ノ割合ガ同ジク五二%二九九トナッテ居リマス、所デ無動力漁船ノ方ヲ見マスト、第一年度ニ於テハ二十九萬三千隻、總噸數四十三萬一千噸、此中デ加入豫定隻數ガ二千四百隻、加入豫定噸數ガ三千噸、加入隻數ノ割合ハ僅ニ〇%六九六%、加入噸數ノ割合ハ〇%六九六%トナッテ居リマス、隻數、噸數共ニ動力附汽船ノ十分ノ一ニモ足ラヌ状態ニナッテ居リマスシ、同ジク九年度ノ豫定數ヲ見マシテモ加入隻數ノ割合ハ、四%八三九、加入噸數ノ割合ハ、

四%八三五デアリマシテ、動力附漁船ニ比較致シマシテ、約十一分ノ一ト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、今日漁村ノ現狀ヲ見マシテモ中小漁船ガ頗ル多ク、而モ中小漁船ノ持主ガ多ク資金難ニ困ッテ居リ、遭難ノ場合ニ於テ困却ノ程度ガ多イノデアリマスカラ、本法運用ニ當ッテハ此點ヲ特ニ注意シテ戴キタイト思ヒマス、又本法ト離ルベカラザル關係ニアリマシテ、寧ロ不即不離ノ立場ニ在ルモノハ、海難防止ノ點デアリマス、委員ノ質問ノ中ニモ屢々現レマシタ漁溜ノ完成トカ、或ハ漁船ニ對スル無電設備ヲ獎勵助成スルト云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、出來ルダケ此遭難率ヲ少クセシムルト云フ方法ヲ、講ジテ戴キタイト思フノデアリマス、更ニ又漁業従事者ノ保險ノ問題、及ビ遺族救護ノ點ニ付テ、特ニ注意ヲスル必要ガアルト思フノデアリマス、自由労働者ノ大部分ハ、大體ニ於テ此保險ニ惠マレテ居ルノデアリマスケレドモ、漁業者ニ對シテハマダ其點ガ及ンデ居ラヌノデアリマス、同時ニ又鑛業ニ従事ヲシテ居ル労働者ノ如キモノハ、鑛業法ニ依リマシテ、死亡致シマスレバ葬祭料三十圓以上、又賃銀ノ三百六十日以上分ヲ支給スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスケ

レドモ、漁業者ニ對シテハ、此點モ惠マレテ居リマセヌ、漁業法ノ第四十條ニ、既ニ従業者ノ遺族扶助ニ關スル規定ハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フコトニナッテ居リマス、併シ二十年モ經過致シテ居ッテ、マダ是ガ發表ヲ見ナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、此點ニ付テモ早速政府ニ於テハ、是ガ實現ヲ圖ルヤウニ努力サレマシテ、漁場従業者ノ保險ノ問題、同時ニ遺族扶助ノ點ニ付テ、是ガ施設ヲ一日モ早ク完成セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、運用上ニ付キマシテ、斯様ノ點ヲ御留意ヲ願ッテ戴クト云フコトデアリマシタナラバ、先ヅ大體結構ヲ私共ハ存ジテ居ルノデアリマシテ、此處ニ最後ニ附帶決議トシテ六箇條ヲ附シマシテ、民政黨ヲ代表シテ本兩案ニ賛成ヲ致シタイト存ジマス、即チ漁船保險法案ニ對スル附帶決議ト致シマシテ

- 一、海難防止並漁業従事者及其ノ遭難遺族救護ニ關スル施設ヲ講スヘシ
- 一、漁業組合中央金庫ヲ速ニ設置スヘシ
- 一、水産資源開發ノ爲沿岸魚介類ノ繁殖保護並遠洋漁業ノ振興ヲ計ルヘシ

漁船兩保險特別會計法案ニ對シテ、附帶決議トシテ

一、本法制定ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲保險金額算定標準ヲ引上ルト共ニ保險料金ヲ引下クヘシ

一、漁船再保險特別會計ニ剩餘金ヲ生シタル時ハ保險料金引下ノ資ニ充當スヘシ

一、漁村ノ現狀ニ鑑ミ本法運用ニ當リテハ中小漁船ニ對シテ特ニ意ヲ用フヘシ之ニテ私ノ本兩案贊成ノ意見ヲ終リマス

○紫安委員長 登坂君

○登坂委員 私モ漁船保險法案及ビ漁船再

保險特別會計法案、此二案ニ對シマシテ希望條項ヲ附シマシテ、本案ニ贊成スルノデアリマス、此兩法案ハ漁業經營ノ一局面ニ保險制度ヲ取入レラレマシテ、從來放任サレテ居リマシタ漁業金融ニ關シ、多少ノ彈力性ヲ加味セシメタル點ニ於キマシテ、頗ル有益ナルモノデアルト信ズルノデアリマス、我等ハ本法ガ其形ニ墮スルコトナク、運用宜シキヲ得テ大イニ利用擴大セラル、コトヲ希フモノデアリマス、即チ希望條項トシテ先ヅ第一ニ、本法制定ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲保險金額算定標準ヲ引上ルト共ニ保險料金ヲ引下クヘシト云フコト、第二ニ漁船再保險特別會計ニ剩餘金ヲ生シタル時ハ保險料金引下ノ資ニ充當スヘシ、又第

三ニハ漁村ノ現場ニ鑑ミ本法運用ニ當リテハ中小漁船ニ對シテ特ニ意ヲ用フヘシト云フコトノ三條項ヲ附シタル所以デアリマス、ソレカラ我國ノ漁村ハ山村ト共ニ疲弊困憊ノ極度ニアリマシテ、而モ比較的政治ノ施設ノ惠澤ニ浴スルコトガ薄イノデアリマス、國民生活ノ安定ヲ緊喫ノ要務ナリト絶叫セラレテ居リマス現下ノ時勢ニ徴シマシテ、特ニ當局ノ熱意ヲ具現セラレシコトヲ望ミマス、私共ガ第四ノ希望條項トシテ海

難防止並ニ漁業従事者及ビ遭難遺族救護ニ關スル施設ヲ講ズベシ、第五ニ漁業組合中央金庫ヲ速ニ設置スベシト希望スルノモ、全ク其意ニ外ナラナイノデアリマス、私共ハ其外ニモ漁獲品ノ貯藏、加工並ニ販賣方法ノ改善施設、又漁村指導施設等ニモ十分當局ノ力ヲ注イデ戴キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ第六ノ希望條項トシマシテ、水産資源開發ノ爲メ、沿岸魚介類ノ繁殖保護並ニ遠洋漁業ノ振興ヲ圖ルベシト云フ希望ヲ附シテアリマスガ、此水産資源ノ開發ニ關シマシテハ、漁獲方法ノ改善ト共ニ、漁獲對象物タル魚介類ノ涵養増殖ニ對スル方策ガ、最モ第一義的ニ肝要ナルコト、考ヘテ居ルノデアリマス、魚族ガ潰滅シテシマヒマスナラバ、漁民漁村ノ更生振

興ト云フコトハ全クアリ得ナイノハ申上ゲル迄モアリマセヌ、此方面ニ關シマシテハ吳レノモ希望ニ堪ヘナイ幾多ノ點ガアリマス、即チ海田魚礁ヲ荒廢セシメルヤウナ

濫獲、酷漁ノ漁撈方法ヲ避クル爲ニ萬全ノ處理方法ヲ講ジテ戴キタイ、例ヘバ漁船底曳網ニ對スル善後處理方法、是等ニ付キマシテハ質問ノ際ニ、私共ノ意ノアル所ヲ申上ゲテ置キマシタカラ省略シマスガ、斯ウ云フヤウナ最モ水産業界ノ最近ノ問題ニナッテ居リマス事柄ニ對シテハ、速ニ善處シテ戴キタイト思フノデアリマス、或ハ魚族ヲ衰頹涸渴セシメル所ノ水質汚毒ノ防止ニ關スル施設、並ニ法案ノ制定ヲ速ニ御工夫ヲ願ヒタイト云フコト、又ハ海流或ハ水溫ト云フモノガ非常ニ魚族ト密接ナル關係ヲ有シテ居ルト云フコトハ、定論ニナッテ居ルノデアリマスガ故ニ、斯ウ云フ根本對策ハ官廳ノ特ニ御研究ニ價スル事柄デアッテ、民間ノ容易ニ手ノ届カザル是等ノ所ニ、御工夫ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、サウシテ魚族ノ廻游移動ノ狀況ヲ漁民ニ先ンジテ探索ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フヤウナ方面ノ施設ヲ、更ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、以上ノヤウナ六項ノ希望條項ヲ附帶決議ニ致シタク考ヘテ居ルノデアリマ

シテ、吾々ハ本案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス

○今給黎委員 漁業振興、漁村救済ノ爲ニ相當スル役目ヲ果スベキデアラウ所ノ、多年ノ要望デゴザイマシタ此漁船保險法案、並ニ之ニ關聯致シマシタ法案ガ提出サレマシタコトハ、私共漁業ニ關シマシテ相當關心ヲ持ッテ居ル立場カラ、熱意ヲ以テ贊同ノ意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ此漁業振興、漁村救済ニ關スル問題ノ、幾多殘サレテ居リマスコトハ、先日來此委員會、若クハ本會議ヲ質問應答ヲサレマシタ其議論ノ中ニ盡サレテ居ルト考ヘマスシ、又先刻來

兩君ヨリ贊成ノ意ニ附加ヘラレマシタ條件ニ悉ク網羅サレテ居ルト考ヘマシテ、私共ハ寧ロ今後ニ於キマシテ左様ナ問題ガ著々實現ヲシ、施設ヲサレルコトニ依ッテ、初メテ兎角不振ヲ極メテ居リマス漁業ガ、振興スルベキモノデアルト信ジテ疑ヒマセヌ、左様ナ意味ニ於キマシテ、本法ガ最モ順調ニ今後進行サレマスコトヲ希望致シマスト共ニ、只今申述べラレマシタ總テノ條件ニ贊成ヲ致シマシテ、本案ニ贊同ノ意ヲ表スル者デアリマス

○山崎委員 私ハ政府提出ニ係リマス漁船保險法、之ニ並ニ出テ居リマス漁船保險

ノ特別會計法ニ對シテ贊成ノ意見ヲ申述ベ
タイト思ヒマス、一言只今マデニ論議サレ
マシタ中ノ、各派ノ諸君ノ御演說ノ附帶決
議ニ付キマシテモ、同様贊成ノ意見ヲ加ヘ
テ置キタイト思ヒマス、其他ニ社會大衆黨
ノ立前ト致シマシテ、附加致シテ此際開陳
致シテ置キタイト思フコトハ、漁船保險法
ニ對スル點デ二點ゴザイマス、演說ノ中ニ
十分ニ申述ベタイトデアリマスガ、時間ガ
サウナイヤウデアリマスカラ、箇條書ニ申
上ゲタイト思ヒマス

一、政府ハ漁業組合ノ全國的統一ヲ強
メ、是ガ協同事業ノ發達ヲ助成シ、漁
民經濟ノ自主的更生ニ資セラレタシ

二、政府ハ漁業労働者ニ對シ政府竝ニ漁
業主ノ全額負擔ニ依ル災害保險法ノ實
現ニ努メラレタシ

此二點デゴザイマス、第一點ノ政府ハ漁業
組合ノ全國的統一ヲ強メ、是ガ協同組合化
ノ爲ニ努力セヨト云フコトハ、今日水産界
ノ傾向ヲ見マスルト云フト、多クハ大水産
事業關係ノ會社ノ獨占スル所ニ、漸次ナッテ
行クヤウニ見エルノデアリマス、殊ニ市場
或ハ冷凍船ナドノ大ナル組織、市場獨占ト
云フヤウナコトヲ會社組織デドシテ進メ
テ參リマスカラ、大規模ナル水産業中心ト

ナッテ、是等ノ資本家ノ手ニ依ッテ之ガ握ラ
レ、最近ニ於テハ市場ヲ獨占スル連中ガ、電
話一本持ツダケデ何等ノ冒險ナシニ、水産
業ノ利益ヲ獨占シテ行ク傾向ノ進ミツ、ア
ルコトハ、統計ノ示ス所デアリマス、之ヲ
放置シテ行クナラバ、今日漁民ノ生活ハ、
如何ナル施設ヲ致シテモ、何等ノ救濟施設
タリ得ナイコトハ、一目瞭然タル所デアリ
マス、之ヲ矯スニハドウシテモ漁業組合ノ
協同組合化ヲ、政府ガ極力援助ヲ致シテ、
是ガ全國的統一ヲ爲シ、總テノ共同販賣事
業、或ハ共同購買事業ヲ助成致シマシテ、
サウシテ漁民自身ノ經濟ノ更生ヲ圖ラセル
ト云フコトガ、一番私ハ漁業政策トシテハ
急務デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマ
ス、是ガ第一點ノ希望ノ要點デゴザイマス

第二點ハ漁業労働者ニ對シテ、政府竝ニ
漁業主ノ全額負擔ト云フコトハ、言換ヘマ
スナラバ漁業労働者ノ收益ガ非常ニ少ナイ
爲ニ、勢ヒ是ハ政府ガ之ニ對スル相當ノ補
給ヲシテヤラナケレバ、保險ガ成立タナイ
ト云フ考ヲ、私達ハ持ツノデアリマス、ソ
コデ現在政府ハ水産會ヲ通ジテ、幾多ノ救
濟施設ニ金ヲ出サレテ居ルガ、モウ一步進
ンデ金ヲ御出シニナッテ、之ヲ保險制度ノ
下ニオヤリニナルト云フコトニナレバ、是

ハ當然成立ッテ來ル、同時ニ其事業主ガ、其
費用ノ一半ヲ負擔致シマシテ、サウシテ救
濟保險ノ形ニ於テ、漁業労働者ノ災害保險
法ヲ作レバ、是ハ私ハ漁業方面ニ於ケル船
舶、或ハ漁具ト云フヤウナ物ニ對スル政策
カラ一步進ンデ、人間ニ對スル政策ニ、十
分發展シテ來ルト考ヘルノデアリマス、是
ハドウシテモ政府ニ此次ノ政策トシテ是非
ヤッテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、是ガ簡單デアリマスガ、私ノ漁業保
險法ニ對スル二ツノ希望ノ要點デゴザイマ
ス、以上ヲ以チマシテ贊成ノ意思表示ヲ致
シマス

○平野委員 私ハ只今ノ山崎君ト同様ノ希
望條件デ、本案ニ贊成致シマス

○紫安委員長 討論ハ終局シタモノト認メ
マス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○紫安委員長 異議ナシト認メマス、兩案
ニ對シテ各附帶決議ガ提出サレテ居リマ
スカラ、各案毎ニ採決致シマス、漁船保險
法案、之ニ對シテ採決致シマス、本案ニ贊
成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○紫安委員長 全會一致本案ハ可決セラレ
マシタ——次ニ民政黨ノ多田君、政友會ノ

登坂君、昭和會ノ今給黎君提案ノ本案ニ附
スベキ附帶決議ハ同一デアリマスルカラシ
テ、一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸
君ハ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○紫安委員長 此附帶決議ハ全會一致決
定致シマシタ(拍手)

○紫安委員長 次ニ漁船再保險特別會計法
案、本案ニ付キ採決致シマス、本案ニ贊成
ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○紫安委員長 全會一致本案ハ可決セラレ
マシタ——次ニ民政黨ノ多田君、政友會ノ
登坂君、昭和會ノ今給黎君提案ノ、本案ニ
附スベキ附帶決議ハ同一デアリマスルカ
ラ、一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸
君ハ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○紫安委員長 全會一致此附帶決議ハ決定
致シマシタ

○紫安委員長 次ニ森林火災國營保險法
案、森林火災保險特別會計法案、此兩案ヲ
一括シテ討論ニ入りマス

○小山委員 私ハ民政黨側ノ委員ヲ代表致
シマシテ、森林火災國營保險法案竝ニ森林
火災保險特別會計法案ニ對スル、我黨ノ態

度ヲ明ニ致シタイト思ヒマス、此法案ハ我國ノ森林經營ノ實情ヨリ見マシテ、極メテ適切ナル施設ト存ジマスルノデ、森林火災國營保險法案ニ對シテハ、二ツノ附帶決議ヲ附シ、森林火災保險特別會計法案ニ對シテハ、一ツノ附帶決議ヲ附シマシテ、本案ノ原案無修正ノ儘贊成ヲ致シタイト思フモノデアリマス、御案内ノ通り我國ハ世界有數ノ山林國デアルニモ拘ラズ、其火災危險ノ率ニ於テ、極メテ高率ヲ示シテ居リマスルコトハ、愛林思想ノ上カラ致シテ洵ニ恥辱トスル所デアリマス、ノミナラズ山林經營ノ將來カラ考ヘマシテ、遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、之ヲ以チマシテ衆議院ニ於キマシテハ、既ニ何回カニ互ッテ或ハ建議案ノ形式ヲ以テ、或ハ議員提出ノ法律案トシテ、是ガ損害ノ補填ノ途ヲ開キ、更ニ罹災地ノ造林計畫ヲ便ナラシムル爲ニ、火災保險制度ノ確立竝ニ普及ニ對シテ、努力ヲ續ケ來タ次第デアリマス、然ルニ此度は等ノ實情ニ即センガ爲ニ、政府ニ於テ此法案ノ成案ヲ見テ、議會ノ協賛ヲ得ントセラレテ居ルノデアリマス、其熱意、其努力ニ對シテ吾々ハ滿腔ノ贊意ヲ表スル次第デアリマス、併ナガラ其規模計畫ニ對シマシテハ、當初ノ計畫トシテハ此程度、此範圍ヲ以テ妥當ナ

リト存ジマスルケレドモ、更ニ我國ノ森林經營ノ大局カラ考ヘテ見マスルナラバ、將來ハ一段其規模ヲ擴大シ、即チ其制限ヲ擴張シテ、此法案ニ於テ保險ノ目的物トシテ定メテ居リマスル人工造林樹齡二十年以下ト云フガ如キモノモ、之ヲ二十年以上、即チ壯齡林ニ及ボサシムルコトハ、極メテ大切デアルト存ズルノデアリマス、政府ノ説明セラレルガ如ク、火災ノ危險ハ幼齡林ニ於テ最モ多イ、サウシテ又其火災ニ一度罹ラ場合ニ於テハ、幼齡林ノ場合ニ殆ド全額損害ト相成リマスル爲ニ、再造林ヲ極メテ困難ナ立場ニ置カシムル實情ニアリマスルノデ、之ニ保險補償ノ途ヲ講ジマシテ、罹災ノ場合ニ再造林ノ計畫ヲ容易ナラシメントスル此度ノ計畫ハ、極メテ妥當デアルト存ジマスル、ケレドモ最近ニ於ケル我國ノ植伐ノ狀況ヲ檢討致シテ見マスルト、年々歳伐採林ハ其面積ヲ非常ニ擴大シテ居ルノニ反シテ、植栽面積、即チ造林面積ハ之ニ伴ハナイ嫌ガアリマス、即チ昭和二年ノ實績ヲ調べテ見マスルト、植栽面積二十萬一千町步ニ對シテ、造林面積ハ十八萬五千町步デアリマシタモノガ、昭和九年ニハ植栽面積ハ著シク増加致シテ二十四萬八千町步、之ニ對シテ造林面積ハ十九萬七千町步

デアル、更ニ越エテ十年ニハ伐採面積二十四萬町步ニ對シテ、植栽面積ハ僅ニ十八萬一千町步デアル、此比例ノ保チ得ナイト云フコトハ、治山治水ノ將來カラ考ヘマシテ、實ニ寒心ニ堪ヘナイノデアリマス、是等ヲ匡救スルガ爲ニハ、ドウシテモ森林經營ヲ容易ナラシムルヤウニ助成シテ行カナケレバナラナイ、其途ハ一デハ足リマセヌガ、一面ニハ火災等ニ對スル損害補償ノ途ヲ講ズルト同時ニ、他面ニ於テハ金融ノ途ヲ開カナケレバナラヌト思ヒマス、現在山林ニ對スル金融ノ途ハ勸業銀行、農工銀行等デ開ケテ居リマスルケレドモ、其投資ノ對象物デアル山林ガ、擔保物トシテ極メテ不便デアリ、又危險デアルト云フヤウナコトカラ、貸出金額ハ少額ニ失シ、貸出利率モ可ナリ他ノ率カラ比ベマスルト、高率ニナッテ居リマス、斯ノ如キ狀態ヲ以テシテハ、未立木地ヲ多ク所有致シテ居リマスル日本ノ森林經營ヲ充實セシムル上ニ、遺憾ノ點ガ非常ニ多イノデ、先程漁船ニ對シテ多田君ヨリ、漁船ノ特異性ヲ十分認メタル特殊金融機關ノ必要ヲ強調セラレタノデアリマスルガ、森林經營ニ對シテモ、他ノ事業ト異リマシテ、非常ニ長期ニ互ル仕事デアリマスルカラ、是等ノ特異性ヲ十分諒解シタル

特殊金融機關ノ特設ヲ必要トスルト同時ニ、此金融ヲ確實ニ、而モ容易ナラシムル爲ニハ、ドウシテモ森林其モノ、危險ニ對スル保障ガナケレバナラナイト思ヒマス、斯ウ云フ方面ニ付テ考ヘテ見マスルナラバ、幼齡林ノミニ保險ヲ止メルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマシテ、勿論壯齡林ニ對シテハ、民間ニ於テ之ヲ行フト政府ハ説明セラレテ居リマスルケレドモ、營利ヲ目的トシタル民間ノ保險事業ニ之ヲ委ネテ居テハ、保險率ハ極メテ高率デアッテ、是ガ運用ノ上ニ遺憾ノ點ガ多イ、隨ヒマシテ折角國營ヲ以テ、森林火災ニ對スル保險制度ヲ確立セラレタノデアリマスルカラ、此範圍ヲ擴大シテ、幼齡林ヨリ漸次壯齡林ニ及ブノ途ヲ講ジテ戴キタイ、更ニソレハ人工壯齡林ノミナラズ、植樹ノ種類ニ依リマシテハ、例ヘバ北海道ニ於ケル白楊樹ノ如ク、人工植林ヲ困難トスル樹種モアリマス、是等ニ對シテハ假令天然植林トハ申シナガラ、其天然ノ稚樹ニ相當ノ人工ヲ加ヘテ育成造林スルノデアリマスカラ、是等ニモ保險ノ途ヲ開クノ方法ヲ講ジテ戴キタイ、此二點ハ我國ノ森林經營ノ上カラ、極メテ大切ナコト、思ヒマスルノデ、之ヲ森林火災國營保險法案ニ附帶シテ決議ト致シタイト

思フノデアリマス、即チ

一、本法適用ノ範圍ヲ壯齡林ニモ擴大スルノ方途ヲ講スヘシ

二、人工植林困難ニシテ天然稚樹ヲ育成セル森林ニ付テモ保險ニ付スルノ方法ヲ開クヘシ

此二ツガ森林火災保險法案ニ對スル附帶決議デアリマス

第二ニ此森林火災國營保險法案ノ目的ヲ達スル爲ニ、當然必要ナル特別會計法案ニ對シテハ、是亦原案ノ儘認メタイノデアリマスルガ、是方運用ニ當リマシテ、漸次其目的ヲ達成セシメル爲ニハ、保險料ノ引下ヲ行フノデナケレバ、其趣旨目的ヲ徹底スルコトガ困難デアルト同時ニ、又極力是ガ實施ニ當リマシテハ、保險料ノ引下ニ努力セラレシコトヲ望ミマス、即チ

本法制定ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲保險料金ノ引下ニ努力スヘシ

ト云フ一條項ヲ附帶決議ト致シテ本案ニ贊成スル次第デアリマス

○小林委員 私人森林火災國營保險法案並ニ森林火災保險特別會計法案、此兩案ニ對シマシテ、政友會ノ委員ヲ代表シテ其態度ヲ明ニシタイト思ヒマス、吾々モ只今小山君ノ述ベラレマシタト同様ニ、森林火災國營

保險法案ニ對シテハ

一、本法適用ノ範圍ヲ壯齡林ニモ擴大スルノ方途ヲ講スヘシ

二、人工植栽困難ニシテ天然ノ稚樹ヲ育成セル森林ニ付テモ保險ニ付スルノ方法ヲ開クヘシ

此二ツノ附帶決議、竝ニ特別會計法案ノ方ニ付キマシテハ

一、本法制定ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲メ保險料金ノ引下ニ努ムヘシ

此附帶決議ヲ附シテ、全部原案ニ贊成スル者デアリマス、其理由ハ只今小山君ノ述ベラレマシタト同様デアリマシテ、更ニ之ヲ繰返ス必要ハナイト思ヒマス、唯簡單ニ吾ノ意見ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、小山君ノ言ハレマシタヤウニ、我國ノ森林ニ對スル火災ノ被害額ガ非常ニ多イト云フコトハ、國民全部ノ常ニ憂ヘテ居ル所デアリマス、是ハ一ニ火災防止ニ對スル國民ノ公德心ノ缺乏ト云フコトガ、重大ナル原因デアリマセウケレドモ、併ナガラサレバト云ッテ此儘ニ森林ニ對スル火災ノ災害ヲ放置シテ置キマスレバ、常ニ生活ニ喘イデ居ルヤウナ山村ノ方面ノ救済トシテモ、洵ニ其途ヲ得ナイモノデアリマス、隨テ吾々ハ多年此法案ノ出ルコトヲ要望シ、

努力シ來ッタノデアリマシテ、本法案ハ樹齡二十年以上ノ人工林ニ限ルト云フヤウナ、極メテ範圍ノ狭イモノデアリマシテ、私ノ屬スル政友會ノ中ニハ、寧ろ範圍ノ狭イノニ非常ナ不滿ガアル位デアリマシテ、是非壯齡林ニモ及バナケレバナラヌト云フ意見モアッタ状態デアリマス、併ナガラ村上政府委員ノ御答辯ニ依リマスレバ、中々危険率或ハ保險價格ノ算定ト云フヤウナコトモ、短イ期間ニ之ヲ決メルト云フコトノ困難ナル事情モアルヤウデアリマス、又財政ノ關係モアリマシテ、今直グニハ是ガ實施サレナイトシマシテモ、是ハ益、其範圍ヲ擴メラレマシテ、只今小山君ノ言ハレマシタヤウナ方法ニ依ッテ、是非共モト廣イ範圍ニ於テノ、本法ノ適用ノ出來ルヤウナ御心配ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラヤハリ小山君ノ言ハレマシタヤウナ人工栽培ガ困難デ、殆ド不可能ト云フヤウナ種類ノモノガアリマシテ、天然ノ稚樹ヲ育成シナケレバ、中々森林經營ガ出來ヌト云フヤウナモノニ對シテモ、本法ノ適用ガ出來ナイヤウナ状態ニナッテ居リマスガ、北海道ナドニ於テハ斯ウ云フモノガ極メテ多イト思フ、其他全國各地ニヤハリ特有ノ樹モアリマシテ、仔細ニ檢討スレバ、サウ云フ種

マス、由來森林ノ多イ山村方面ト云フモノハ、從來農村對策トシテノ色々匡救事業ナドノオ蔭ヲ受ケテ居ラヌノデアリマス、非常ニ人智ハ低ク、補助金ヲ受クル方法モ知ラヌト云フヤウナ者ガ多イノデアリマシテ、今日非常ニ悲慘ナル狀況ニアルノデアリマス、是ハ一ニ先達テ政府委員ノ仰シヤイマシタヤウニ、良キ指導者ガ山村方面ニナイト云フコトガ、大キナ問題デアラウト思ヒマス、ドウカ出來ルダケ政府ニ於カレテモ、此方面ノ救濟ヲ御考下サツテ、例ヘバ林業試驗場ヲ諸所ニ設ケラレルトカ、或ハ指導者ヲ派セラレルトカ、今少シ山村方面ノ人々ガ、國家ノ施設ニ對スル恩惠ニ浴スルコトガ出來ルヤウニ、御考慮ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、更ニ此機會ニ當リマシテ、農業經營ノ基礎ヲ安定セシムル爲ニ、速ニ農産物保險法ヲ制定スルコトニ、政府ノ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、前述ノ如ク、國營保險法案ニ對シテハ二個ノ、特別會計法案ニ對シテハ一個ノ附帶決議ヲ付シマシテ、全部原案ニ贊成スル者デアリマス

テハ、先刻來民政黨ノ小山君、政友會ノ小林君カラ附帶決議ヲ提出サレマシタガ、其附帶決議ト同一ノ附帶決議ヲ提出ヲ致シマシテ、私ハ贊成ヲ致シタイト思ヒマス

君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○紫安委員長 全會一致、本案ハ可決セラレマシタ——次ニ民政黨ノ小山君、政友會ノ小林君、昭和會ノ今給黎君カラ御提案ノ本案ニ付スベキ附帶決議ニ付キマシテハ同一デアリマスカラ一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕

○紫安委員長 今給黎君
○今給黎委員 意見ダケヲ申上ゲマス、只今上程サレテ居リマス此兩案ニ對シマシ

○山崎委員 私ハ森林火災國營保險法案ニ對スル贊成ノ意思表示ヲ致シマス、併セテ森林火災ノ特別會計法ニ對シテハ贊成デゴザイマス、唯社會大衆黨ノ希望ト致シマシテ、贊成意見ノ中ニ、斯ウ云フ點ヲ申述ベタイト思ヒマス、ソレハ「政府ハ民營林地帯ニモ森林火災豫防ノ爲ニ官立ノ氣象觀測ト管理機關ヲ擴大シ、以テ森林被害ノ絶滅ニ努メラレタシ」ト云フ一項デアリマス、又「政府ハ次期議會ニ重要農作物保險法案ヲ必ズ提出セラレタシ」他ノ委員カラモサウ云フ論議ガアツタヤウデアリマス、此二點ニ付キマシテ十分ニ政府ガ此法律ノ執行ニ當リマシテハ、必ズ斯様ナ點ニ付テモ政策ヲ持タレマセスト、測ラザル國家ニ對スル損害ガ多クナツテ來ルノデヤナイカ、斯様ナ杞憂ヲ持チマス爲ニ、敢テ此點ヲ附加致シマシテ贊成ノ意見トシマス

○紫安委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、先ツ森林火災國營保險法案ニ付テ採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○紫安委員長 全會一致此案ハ可決セラレマシタ——次ニ民政黨ノ小山君、政友會ノ小林君、昭和會ノ今給黎君カラ提案ノ本案ニ付スベキ附帶決議ニ付キマシテハ、同一デアリマスカラ、一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕

○紫安委員長 今給黎君
○今給黎委員 意見ダケヲ申上ゲマス、只今上程サレテ居リマス此兩案ニ對シマシ

○紫安委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、先ツ森林火災國營保險法案ニ付テ採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○紫安委員長 全會一致此案ハ可決セラレマシタ——次ニ民政黨ノ小山君、政友會ノ小林君、昭和會ノ今給黎君カラ提案ノ本案ニ付スベキ附帶決議ニ付キマシテハ、同一デアリマスカラ、一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕

○紫安委員長 全會一致此案ハ可決セラレマシタ——次ニ民政黨ノ小山君、政友會ノ小林君、昭和會ノ今給黎君カラ提案ノ本案ニ付スベキ附帶決議ニ付キマシテハ、同一デアリマスカラ、一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○紫安委員長 全會一致此案ハ可決セラレマシタ——次ニ民政黨ノ小山君、政友會ノ小林君、昭和會ノ今給黎君カラ提案ノ本案ニ付スベキ附帶決議ニ付キマシテハ、同一デアリマスカラ、一括シテ採決致シマス、之ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕

昭和十二年三月十九日印刷

昭和十二年三月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社